

2月23日(土)

第1会場

16:30~17:30 ワークショップ1

一橋講堂

複雑手技症例の臨床

## 【概要】

デバイス治療の進歩に伴い、新たな機能やデザインを有するデバイスが発売され、それに伴い植込み手技も複雑化し難易度も上がりつつある。また難易度に加え、手術手技自体が様々な原因で遅延する事態も新たに生じてきており、術後合併症などで患者のQOLに大きな影響を及ぼすことも懸念される。

手術手技を複雑にする代表的要因としては解剖学的問題、患者要因、先行手術の影響、各社リードのデリバリーシステムを含む特性の違いなど多岐に渡ることが想定される。本セッションでは臨床で遭遇する可能性が高く、複雑手術手技を選択せざるをえなかった症例や、手技自体に工夫を凝らさなければならなかった症例などを発表して頂く。合併症を回避しつつ、どのようにして難易度の高い症例に対応したかという点を中心にディスカッションできればと考えている。このワークショップが今後の日常臨床の参考になれば幸いである。

プログラム  
2月23日  
午後

〔座長〕 中里 祐二 順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科  
須藤 恭一 横浜いずみ台病院循環器科

## WS1-1. ペーシングリード挿入時における“buddy wire technique”の有用性

大阪南医療センター循環器科 ○安岡 良典, 足達 英悟, 野田 善樹,  
中嶋 哲史, 小濱 康明, 小杉 元宏,  
荒木 亮, 松寺 亮, 服部 進,  
久米 清士, 佐々木達哉

## WS1-2. 右側の不完全断線ショックリードを抜去することによりなんとか新規リード追加留置しえた右鎖骨下静脈狭窄, 左鎖骨下静脈閉塞の1例

東京女子医科大学循環器内科 ○加藤 賢, 真中 哲之, 庄田 守男,  
江島浩一郎, 八代 文, 貫 敏章,  
吉田健太郎, 萩原 誠久

## WS1-3. ICD植込み術後鎖骨下静脈の完全閉塞を認め、対側からのLVリード留置と皮下トンネルの作成によりCRT-Dへのアップグレードに成功した1例

獨協医科大学越谷病院循環器内科 ○虎溪 則孝, 東 昭宏, 中村日出彦,  
虎溪 瑞穂, 中原 志朗, 酒井 良彦,  
高柳 寛

WS1-4. 左室リード植込みシステムを用いて除細動リード植込みを行った心室頻拍の1例

福島県立医科大学循環器・血液内科学講座 ○神山 美之, 鈴木 均, 山田 慎哉,  
金城 貴士, 竹石 恭知  
福島県立医科大学附属病院臨床工学センター 佐藤貴美絵, 出羽 仁  
米沢市立病院循環器科 平 カヤノ

WS1-5. 高度屈曲を有する冠状静脈洞にUnify Quadra™ CRT-D (Quartet™ LV Lead)を植込んだ2例

関西労災病院循環器内科 ○渡部 徹也, 神田 貴史, 上松 正朗

WS1-6. Vascular access困難が予想されたが, 造影剤アレルギーのため非造影下にDDDペースメーカーからCRT-Pへupgrade手術を試みた1例

板橋中央総合病院循環器科 ○沼田 哲也, 中島 博, 榎本 典浩,  
稲森美香子, 塩崎 学, 坂元 博,  
大塚 龍彦, 佐久間儀広, 副島 洋行,  
太田 洋, 田村 勤